



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月13日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東  
コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000(代)  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,996	△3.8	△280	—	△213	—	△423	—
2023年3月期第3四半期	11,432	2.6	374	△61.0	461	△55.2	320	△66.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 △427百万円( —%) 2023年3月期第3四半期 346百万円( △62.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	△12.52	—
2023年3月期第3四半期	9.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,727	9,060	56.7
2023年3月期	15,944	9,654	59.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 8,923百万円 2023年3月期 9,505百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	14,400	△5.0	△360	—	△250	—	△700	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P.10「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	37,371,500株	2023年3月期	37,371,500株
2024年3月期3Q	3,533,572株	2023年3月期	3,540,159株
2024年3月期3Q	33,835,358株	2023年3月期3Q	33,679,608株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、事業セグメント区分及び主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

その他セグメントの株式会社iDMPは、2023年4月に株式会社クリエイターズギルド(現株式会社インプレス・デジタル・バリューズ)へ吸収合併されたことに伴い、連結の範囲から除外しております。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社 ㈱原の小屋
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、宿泊サービスの提供	
航空・鉄道 (航空・鉄道分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	イカロス出版㈱ ㈱天夢人
		ソリューション	パートワーク等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等	㈱近代科学社 ㈱PUBFUN ㈱インプレス・デジタル・バリューズ ㈱シフカ ㈱IPGネットワーク Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理	㈱インプレスホールディングス(当社)

## (当第3四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業区分別売上高は、外部顧客への売上高を、事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んだ売上高をそれぞれ記載し、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、コンテンツ事業の減収による影響が大きく、全体としても減収となりました。事業区分別では、シフカの業績を取り込んだことにより、ソリューション事業が増収、ネットメディアの広告収入等はアフィリエイトの好調等により増収となりましたが、出版・電子出版で、電子書籍の減収及び既刊書籍の出荷減・返品増による減収に加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした市場成長に陰りが見え始めたターゲットメディアは、ターゲット広告及びイベント収入が弱含みな展開となり、コンテンツ事業の売上高は前年同期（9,380百万円）に比べ3.5%減少し、9,050百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業において、主力サービスの取扱は堅調な推移を維持しているものの、一部サービスが終了となった影響等で、売上高が前期（2,051百万円）に比べ5.1%減少し、1,946百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（11,432百万円）に比べ3.8%（435百万円）減少し、10,996百万円となりました。営業利益につきましては、減収とコンテンツ事業等の収益性の悪化に加えて、報酬水準の引き上げと中期成長投資の増加等により販売管理費が増加したことで、前年同期（374百万円）に比べ利益が654百万円減少し、280百万円の損失となりました。経常利益につきましては、前年同期（461百万円）に比べ利益が674百万円減少し、213百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（320百万円）に比べ利益が744百万円減少し、423百万円の損失となりました。

## (セグメント別の概況)

## ① IT

ITセグメントの売上高につきましては、ChatGPT関連の新刊書籍が大きなヒットとなったものの、既刊書籍の出荷減少等により、出版・電子出版は前年同期（2,190百万円）と比べ1.8%減少し2,151百万円となりました。また、ネットメディア・サービスは、デジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」（<https://www.watch.impress.co.jp/>）において、ネットワーク広告の単価下落の一巡とアフィリエイトの好調な推移により回復傾向となったことで、前年同期（1,168百万円）に比べ3.2%増加し1,205百万円となりました。ターゲットメディアは、市場成長に陰りが見え始めたことで、ターゲット広告の減収傾向が継続していることに加え、イベント収入の規模が縮小傾向となり、前年同期（956百万円）に比べ15.4%減少し808百万円となりました。ソリューション事業においては、国内及び海外受託案件が堅調に推移し、前年同期（267百万円）に比べ2.1%増加し273百万円となりました。これらの結果、コンテンツ事業の売上高は前年同期（4,583百万円）に比べ3.1%減少し、4,439百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子出版及び書籍の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期（201百万円）に比べ3.4%増加し208百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（4,812百万円）比2.9%減の4,670百万円となりました。セグメント利益は、減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（731百万円）と比べ利益が341百万円減少し、389百万円となりました。

## ② 音楽

音楽セグメントの売上高につきましては、前期の音楽アーティスト関連のムック本が好調に推移したことの反動や書籍の刊行点数減による減収があったものの、アーティスト関連の受託案件が拡大に加えて、雑誌の定価改定も奏功し、コンテンツ事業の売上高は前年同期（1,049百万円）に比べ5.8%増加し、1,110百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」(<https://www.digimart.net/>)における楽器店からの決済サービス収入が増加したものの、パートナー出版社の販売が減少したことにより、売上高は前期（347百万円）に比べ5.3%減少し、329百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（1,400百万円）比2.9%増の1,441百万円となりました。セグメント利益は、増収となったものの販売管理費が増加したことにより、前年同期（78百万円の損失）と比べ損失が18百万円増加し、97百万円の損失となりました。

## ③ デザイン

デザインセグメントの売上高につきましては、既刊書籍の返品増加及び新刊書籍や季節商品の刊行点数減少等により、コンテンツ事業は大幅な減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（746百万円）比22.9%減の575百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費は減少したものの減収と収益性の悪化により、前年同期（67百万円の損失）と比べ損失が41百万円増加し、109百万円の損失となりました。

## ④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントの売上高につきましては、ムック本の大型刊行の反動、電子書籍や既刊書籍の減収があったものの、新刊書籍の売行き改善及びカレンダーの価格の引き上げと堅調な出荷等により、出版事業が堅調に推移したことに加え、観光需要等の回復を背景に自治体等の受託案件が増加した結果、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（1,324百万円）比3.2%増の1,367百万円となりました。セグメント利益では、増収となったものの収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（36百万円の利益）と比べ利益が42百万円減少し、6百万円の損失となりました。

## ⑤ 航空・鉄道

航空・鉄道セグメントの売上高につきましては、雑誌・ムックは刊行点数の絞り込みに加えて編集受託案件の減少より減収となったものの、電子出版の投入タイトルの増加等による増収に加え、書籍強化の方針に沿って刊行点数を拡大、既刊書籍の販売も堅調に推移したことで、コンテンツ事業は前年並みとなりました。

以上により、「航空・鉄道」の売上高は、前年同期（1,013百万円）と同水準の1,013百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（92百万円の損失）と比べ85百万円損失が増加し、178百万円の損失となりました。

## ⑥ モバイルサービス

モバイルサービスの売上高につきましては、電子出版の販売減による減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期（154百万円）と比べ25.3%減少し、115百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業は、主力サービスの取扱が堅調な推移を維持したものの、一部サービスの終了等により、売上高は前期（1,242百万円）と比べ7.2%減少し、1,153百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（1,402百万円）比9.2%減の1,273百万円となりました。セグメント利益では、収益性が改善し販売管理費は減少したものの、減収により、前年同期（313百万円）と比べ34百万円減少し、279百万円となりました。

## ⑦ その他

その他セグメントにつきましては、国内受託案件の減収があったものの、シフカの業績を取り込んだことによる増収等により、売上高は前年同期（1,109百万円）比8.0%増加の1,198百万円となりました。セグメント利益では、増収に加えて収益性が改善したもののプラットフォーム事業の新規開発に関わる投資の増加等により、前年同期（16百万円の損失）と比べ111百万円損失が増加し、128百万円の損失となりました。

## ⑧ 全社

全社区分につきましては、純粋持株会社である当社のみが属しており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラ使用料の手数料収入や経営管理業務の受託を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の減少等により、前年同期（1,678百万円）比17.4%減の1,386百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が減少したものの、減収により、前年同期（273百万円）と比べ203百万円減少し、70百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節的変動要因による受取手形、売掛金及び契約資産の増加があったものの、配当金の支払いに加えて四半期純損失となったこと等で現金及び預金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ216百万円減少し15,727百万円となりました。

負債につきましては、季節的変動要因による仕入債務や返金負債の増加等により、377百万円増加し6,667百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いによる減少に加えて、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、593百万円減少し9,060百万円となりました。

自己資本は8,923百万円となり、自己資本比率は56.7%と前連結会計年度末（59.6%）と比べ2.9ポイントの減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、本日付で、通期の業績予想を以下のとおり修正しております。

当第3四半期連結累計期間につきましては、ネットメディア及びプラットフォーム事業が想定を上回ったものの、利益率の高い既刊書籍が、前期の商品力の弱さの影響で出荷が減少・返品が増加したことに加え、上半期に発生した書籍等の刊行遅れの挽回を目指したリカバリー施策の遅れや、新型コロナウイルスを契機とした電子書籍やターゲットメディアの市場成長に対する鈍化も重なり、売上・利益ともに想定を大きく下回る業績進捗となりました。

第4四半期連結会計期間(3ヶ月)においては、当第3四半期連結会計期間に実施した事業構造改革の実施に伴う編集者の人員減で、書籍等の刊行点数が大幅に減少したことに加え、ターゲットメディアのイベント・セミナーが当初の想定を下回り売上・利益ともに下方修正となる見通しです。

また、当第3四半期連結会計期間において計上した事業構造改革費用(特別損失)の計上に加え、当連結会計年度末において、将来の収益改善が見込まれる不採算事業の見直し等に係る特別損失(概算200百万円)の計上も検討していることなどを勘案し、通期連結業績予想を下方修正いたしました。

## 連結業績予想(通期)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2023年8月10日 発表予想(A)	15,500	150	250	100	2.96円
本日(2024年2月13日)発表修正予想(B)	14,400	△360	△250	△700	△20.69円
増減額 (B-A)	△1,100	△510	△500	△800	—

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,983,589	5,117,237
受取手形、売掛金及び契約資産	4,428,274	5,454,083
有価証券	—	100,000
商品及び製品	1,307,848	1,390,143
仕掛品	214,582	205,248
返品資産	278,114	197,022
その他	1,179,336	708,994
貸倒引当金	△621	△750
流動資産合計	13,391,123	13,171,979
固定資産		
有形固定資産	446,017	427,122
無形固定資産		
ソフトウェア	269,841	317,518
のれん	127,804	103,840
その他	14,969	14,951
無形固定資産合計	412,615	436,310
投資その他の資産		
投資有価証券	749,759	775,330
繰延税金資産	472,448	472,654
その他	472,452	444,426
投資その他の資産合計	1,694,661	1,692,410
固定資産合計	2,553,293	2,555,844
資産合計	15,944,417	15,727,823
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,632,631	1,721,234
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	103,125	118,750
未払法人税等	82,800	14,797
返金負債	547,316	919,660
賞与引当金	143,000	34,766
役員賞与引当金	—	13,377
その他	1,565,022	1,737,140
流動負債合計	4,423,895	4,909,726
固定負債		
長期借入金	184,375	87,500
退職給付に係る負債	1,564,340	1,570,048
長期末払金	62,536	49,044
その他	55,148	51,381
固定負債合計	1,866,400	1,757,974
負債合計	6,290,296	6,667,701



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,683,480	1,684,366
利益剰余金	3,149,549	2,556,815
自己株式	△631,364	△629,449
株主資本合計	9,542,686	8,952,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△212	69
退職給付に係る調整累計額	△36,662	△29,113
その他の包括利益累計額合計	△36,875	△29,043
非支配株主持分	148,310	136,412
純資産合計	9,654,121	9,060,122
負債純資産合計	15,944,417	15,727,823

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	11,432,790	10,996,939
売上原価	7,214,613	7,191,334
売上総利益	4,218,176	3,805,604
販売費及び一般管理費	3,843,777	4,085,816
営業利益又は営業損失(△)	374,399	△280,212
営業外収益		
受取利息	10	46
受取配当金	1,205	1,425
持分法による投資利益	75,438	57,342
為替差益	2,019	533
その他	12,235	11,575
営業外収益合計	90,908	70,923
営業外費用		
支払利息	3,419	3,495
投資有価証券評価損	—	516
その他	224	8
営業外費用合計	3,643	4,020
経常利益又は経常損失(△)	461,664	△213,308
特別利益		
段階取得に係る差益	21,415	—
負ののれん発生益	7,665	—
特別利益合計	29,081	—
特別損失		
固定資産除却損	8,718	—
事業構造改革費	—	136,861
特別損失合計	8,718	136,861
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	482,027	△350,170
法人税、住民税及び事業税	157,673	86,397
法人税等調整額	△394	△1,092
法人税等合計	157,279	85,305
四半期純利益又は四半期純損失(△)	324,747	△435,475
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4,069	△11,898
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	320,677	△423,577

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	324,747	△435,475
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,973	282
退職給付に係る調整額	19,381	7,549
その他の包括利益合計	21,354	7,831
四半期包括利益	346,101	△427,644
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,031	△415,745
非支配株主に係る四半期包括利益	4,069	△11,898

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	4,583,262	1,049,421	731,853	1,314,041	1,005,660	154,939	8,839,178	541,707	—	9,380,886
メディア& サービス事業	4,315,598	961,113	731,853	1,249,735	957,481	104,273	8,320,055	165,336	—	8,485,392
出版・電子出版	2,190,610	872,995	719,668	1,195,097	939,798	104,273	6,022,443	164,203	—	6,186,647
ネットメディア ・サービス	1,168,611	88,117	12,185	54,638	17,683	—	1,341,235	1,132	—	1,342,368
ターゲット メディア	956,375	—	—	—	—	—	956,375	—	—	956,375
ソリューション 事業	267,664	88,308	—	64,305	48,178	50,666	519,122	376,371	—	895,493
プラットフォーム 事業	201,767	347,966	—	—	—	1,242,364	1,792,098	259,806	—	2,051,904
顧客との契約から 生じる収益	4,785,029	1,397,388	731,853	1,314,041	1,005,660	1,397,304	10,631,276	801,513	—	11,432,790
外部顧客への売上高	4,785,029	1,397,388	731,853	1,314,041	1,005,660	1,397,304	10,631,276	801,513	—	11,432,790
セグメント間の内部売 上高又は振替高	27,126	3,082	14,293	10,248	7,962	5,533	68,247	307,758	△376,006	—
計	4,812,155	1,400,470	746,146	1,324,289	1,013,623	1,402,838	10,699,524	1,109,272	△376,006	11,432,790
セグメント利益又は セグメント損失(△)	731,450	△78,605	△67,176	36,898	△92,811	313,968	843,724	△16,927	△452,397	374,399

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。  
セグメント利益又はセグメント損失の調整額△452,397千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△376,006千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,324,014千円、セグメント間の営業費用の取引消去1,247,623千円が含まれております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間において、株式会社Impress Professional Worksは、グループの組織再編に伴い、全社機能を株式会社インプレスホールディングスに事業譲渡しました。譲渡した全社機能については引き続き調整額に含めております。また、株式会社Impress Professional Worksは、グループ共通の事業基盤(ビジネス・プラットフォーム)の構築・運営に特化した会社へ再編したことにより、称号を株式会社IPGネットワークに改め、「その他」に含めております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	4,439,128	1,110,808	559,480	1,356,538	1,008,026	115,716	8,589,698	460,510	—	9,050,208
メディア& サービス事業	4,165,948	971,919	559,480	1,281,517	970,975	68,001	8,017,842	109,014	—	8,126,856
出版・電子出版	2,151,235	882,925	554,429	1,219,628	950,799	67,997	5,827,017	95,349	—	5,922,366
ネットメディア ・サービス	1,205,909	88,993	5,050	61,888	20,175	4	1,382,021	13,664	—	1,395,686
ターゲット メディア	808,803	—	—	—	—	—	808,803	—	—	808,803
ソリューション 事業	273,179	138,889	—	75,021	37,050	47,715	571,856	351,495	—	923,352
プラットフォーム 事業	208,685	329,351	—	—	—	1,153,382	1,691,419	255,311	—	1,946,730
顧客との契約から 生じる収益	4,647,813	1,440,159	559,480	1,356,538	1,008,026	1,269,099	10,281,117	715,821	—	10,996,939
外部顧客への売上高	4,647,813	1,440,159	559,480	1,356,538	1,008,026	1,269,099	10,281,117	715,821	—	10,996,939
セグメント間の内部売 上高又は振替高	22,957	1,072	16,012	10,541	5,927	4,727	61,240	482,725	△543,965	—
計	4,670,771	1,441,232	575,492	1,367,080	1,013,953	1,273,827	10,342,358	1,198,546	△543,965	10,996,939
セグメント利益又は セグメント損失(△)	389,456	△97,044	△109,145	△6,090	△178,408	279,167	277,934	△128,423	△429,723	△280,212

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又はセグメント損失の調整額△429,723千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△543,965千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△1,221,320千円、セグメント間の営業費用の取引消去1,335,562千円が含まれております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。